

# 学習会報告

2021.8.2

## ICTを活用した授業づくり～保健体育の事例を通して～

8月2日に校内でICTに関する学習会を行いました。本校情報教育部の小檜山泰典教諭を講師とし、校内に設置されているタッチパネルのテレビやiPadのアプリケーションの活用の仕方を学びました。実際の授業場面の動画から、教員がICTを使うことで児童生徒の学びやすさを手助けしたり、児童生徒自身がICTを活用し、目的を達成するために主体的・協働的に学んだりする姿を見て、授業作りへのヒントを得ることができました。問題を解決するために必要な情報を得、思考錯誤しながら物事を解決していく力は、全ての教科学習及び生涯の生活にも必要な力となってくるのではないかと感じました。教員もまた同じで、よりよい授業を追求していくために、「試し、考え、学び続ける」ことの大切さを改めて感じた研修となりました。



体育の授業での活用例では、生徒がiPadを使ってバドミントンの打ち方を調べて自分のフォームを確認したり、友達同士で教え合ったりする姿が見られました。得た情報から自分のフォームを分析したり、友達と比較したりして、自分たちで解決していく様子が見られました。



「Bluetooth」や「エアドロップ」の機能を使って参加者同士で写真やアプリを共有したり、動画の編集をしたりしました。教員同士も学び合いの姿が見られました。

### 参加者の声

○苦手意識がありましたがやり方を覚えればとても便利で、指導の幅も広がると思いました。

○ミシンの使い方や調理方法を撮影して生徒みんなで振り返りをするなど、自分の授業でも活用していきたい。

○講師の先生の日頃の実践を興味深く拝見させていただきました。素晴らしい研修をありがとうございました。